

令和6年度の当初予算を紹介します

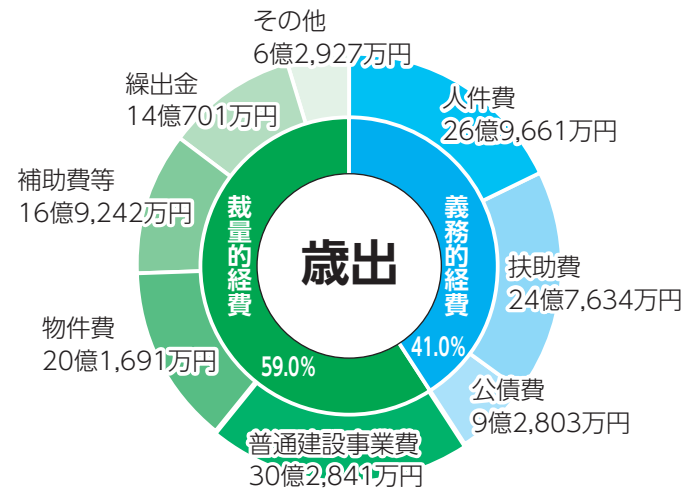
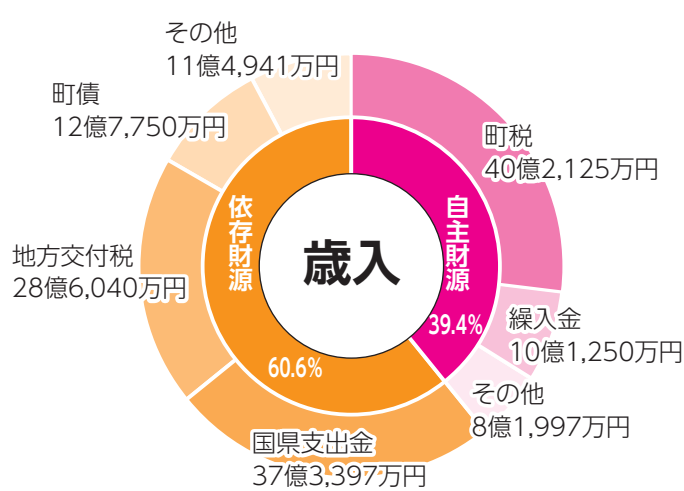


予算総額 **259億 1,490万円** (前年度比 +9.0%)

一般会計 148億 7,500万円 (前年度比 +16.6%)
 特別会計及び企業会計 110億 3,990万円 (前年度比 +0.3%)

令和6年度の茨城町一般会計予算は、148億7,500万円で、前年度より21億1,300万円の増、過去最大となりました。充実した予算とするため、限りある財源をより効果のある事業へ重点的に配分しました。

一般会計



歳入用語

自主財源：町が自主的に調達するお金
 町税…皆様に納めていただく税金
 繰入金…町の預貯金から取り崩すお金
 その他…施設使用料や証明書の発行手数料など

依存財源：国や県から補助されるお金
 国県支出金…特定の事業に対して国・県から補助されるお金
 地方交付税…他市町村との財源の均衡を保つために国から配分されるお金
 町債…町が借り入れるお金
 その他…地方消費税交付金をはじめとした国からの各種交付金など

歳出用語

義務的経費：支出することが義務づけられた経費
 人件費…議員や各種委員、職員の報酬や給与等
 扶助費…社会福祉にかかる経費
 公債費…借金の返済にかかる経費

裁量的経費：政策的な判断で増減できる経費
 普通建設事業費…公共施設等の建設や改修経費
 物件費…事務費や備品購入、委託等の消費的経費
 補助費等…他団体や町民の皆様に対する現金的給付の経費
 繰出金…特別会計に対して支出する経費
 その他…預貯金への積立金、維持補修費などの経費

特別会計及び企業会計 ※企業会計は支出予定額

国民健康保険特別会計	36億5,849万円
後期高齢者医療保険特別会計	5億4,167万円
介護保険特別会計	34億6,795万円
農業集落排水事業会計(3条)	3億1,570万円
農業集落排水事業会計(4条)	9,941万円
公共下水道事業会計(3条)	6億5,544万円
公共下水道事業会計(4条)	5億1,391万円
水道事業会計(3条)	7億8,763万円
水道事業会計(4条)	9億9,779万円
工業用水道事業会計	191万円
合計	110億3,990万円

【問合せ先】 財政課 ☎ 029-240-7123 (直通)

地方消費税社会保障財源分の使い道

消費税の一部は市町村に配分され、社会保障財源分として社会保障経費に充当することとされています。その社会保障財源分は、4億2,600万円と前年度より1,000万円減となっています。

【社会保障経費の内訳】

科目	予算額	充当額
社会福祉	28億 545万円	1億6,900万円
社会保険	14億 701万円	2億1,140万円
保健衛生	3億8,961万円	4,560万円
合計	46億 207万円	4億2,600万円

結婚新生活支援補助金の給付

婚姻した世帯を対象に、住宅取得費用、家賃、引っ越し費用等を新たに給付します。
 ※令和6年1月1日～令和7年3月31日の間に婚姻届が受理された夫婦が対象となります。

国際交流の強化



国際交流協会の設立や友好交流都市締結を進め、国際社会で活躍できる人材の育成とともに、町内在住外国人に対して、必要な日本語や情報を提供します。

移住者新築住宅等取得補助金の給付

若者世帯や子育て世帯が住宅を建築購入する際に補助金を給付し、移住定住を促進します。



花のまちづくりの推進

花による環境美化への取り組みをさらに発展させるために策定した「花のまちづくり推進計画(花まちプラン)」に基づき、人と人が交流する美しいまちづくりを進めます。



国道・県道などの幹線道路については、地域住民の日常的な生活道路として重要な役割を担うとともに、本町内の工業団地等に進出する企業などの経済活動を支える不可欠の社会基盤です。国の「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」や県の道路整備計画なども緊密に連携を図っていきます。

国道6号の整備については、令和5年12月に小鶴西交差点周辺改良事業が完成したことにより、事故の低減や渋滞解消への効果が表れつつあります。事業区間の更なる延伸を求め、町内全区間ができるだけ早期に4車線化できるよう、関係自治体とも協力して積極的な要望活動を行っていきます。

県道整備については、主要地方道大洗友部線の茨城中央工業団地から町運動公園前までの区間において、令和6年3月に開通したことから、残り国道6号までの区間についても、早期完成に向けた工事が急ピッチで進められているところです。また、主要地方道内原塩崎線(長岡中山バイパス)や一般県道宮ヶ崎小幡線などの各路線についても、渋滞解消や歩行者の安全対策の観点から、県と協力・連携を図って推進してまいります。

DX推進については、本年2月に策定した「茨城町DX推進計画」に基づき、デジタル技術やAI等の活用により、町民の利便性の向上と業務の効率化を図るべく、デジタル社会の構築が進む中、スピード感を

最後に、人口減少を食い止めることが本町の最重要課題となっていることから、令和5年に少子化・人口減少対策プロジェクトチームを立ち上げました。本チームで取りまとめる施策案を基に、既存施策の強化・充実を図るとともに、新規施策についても検討を行いながら、「第3期茨城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定してまいります。

もって取り組みを推進します。
 ※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術を活用して、社会や生活の形を変えること。

みんなの力でつくる自立したまち

郷土を愛する心や人を思いやる温かさなど、豊かな人間性を有する本町の誇る町民性を生かしながら、町民、各団体、民間企業、大学等の積極的な参画及び協働を促し、「全員参加」によるまちづくりを進めます。

また、行政改革については、「住民サービスの向上と協働の推進」、「デジタル化による業務の効率化と民間委託の推進」及び「持続可能な財政運営」を目標に据えて、第6次行政改革大綱の策定を進めているところです。今後は、本大綱に基づき、変革する時代の要請にも迅速に応えられるまちづくりを目指して、引き続き改革を推進してまいります。